

4 ページが2社、6 ページが1社、8 ページが2社、9 ページが1社です。時代背景が複雑ですのでどの「教科書」が採択されても、補足の教材が必要になってきます。

引用された原文



外交官、杉原千畝と六千人



杉原千畝

「加害者」ではなく「被害者」の立場で、加害者である自分たちを裁くのではなく、裁かれないようにする。裁かれないようにする。裁かれないようにする。

「加害者」ではなく「被害者」の立場で、加害者である自分たちを裁くのではなく、裁かれないようにする。裁かれないようにする。裁かれないようにする。

「加害者」ではなく「被害者」の立場で、加害者である自分たちを裁くのではなく、裁かれないようにする。裁かれないようにする。裁かれないようにする。

杉原氏の妻と一緒に赴任していた杉原幸子氏の「六千人の命のビザ」を引用したのが4社、これをもとに他の人物が脚色した文章を引用した会社
が1社、作者不明で編者が創作したと思われるのが1社です。後者ほど価値観の押しつけが強く不

「ナチスドイツによるユダヤ人虐殺」「ドイツと防共協定を結び、さらに軍事同盟を結ぼうとしていた日本」「ソ連スターリン政権による強制編入でリトアニアの外交権が奪われたこと」「帰国後に杉原氏は外務省を辞職したこと」が教材の背景にあります。すべてに触れているのは1社だけです。

政治的中立を
逸脱していないか

安倍首相が、2016年12月に真珠湾で行った演説を「込められた思い和解の力」と題して1

6月3日、第31回和泉親子まつりが開催され、約1000人が入場しました。

泉北教組は、手づくり
コーナー「タオルの犬」
を担当しましたが、他に
も「木工広場」「竹とん

あり、多くの親子連れでにぎわいました。



オープニングの和太鼓サークルやまびこ



「タオルの犬」製作中



ページを使用して掲載した会社が1社あります。
ホノルルの姉妹都市である長岡市が2015

年8月に真珠湾で花火を打ち上げた経緯を扱った「白菊」という教材（これも出典不明）の後の

安倍首相の演説を掲載した教科書



 和解の力

[illegible]

「資料」という扱いです。首相とはいえ、現職の政治家の演説を、しかも歴史的な評価が定まったとは言えない時期に、「教科書」に掲載して問題は無いのでしょうか。教科書には政治的中立が求められます。この「教科書」が検定に合格したこと自体が、特別の教科「道徳」の設置目的を示していると思うのはいかがでしょうか。

「戦争法」を廃止させよう。子どもたちや自衛隊員を戦場に送るな。